

えんちょう先生の  
わくわくだより  
NO23 2月3日節分号

鬼がきた！



★せつぶん  
一本と一本で鬼になって  
二本と二本でイワシを食べて  
三本と三本でパンツをはいて  
四本と四本でかなぼうもって  
五本と五本で豆を蒔いて  
おにわそと

今日は節分、「俺達は、わははは 鬼ですよ わははは♪」なんて、大きな声で歌いながら、「鬼まつり」のリズムを楽しんだみんな。杉本先生にやってもらった、節分の手遊びも楽しかったね。度会先生から、節分のお話も聞きました。「冬から春に変わる境目が今日、節分だよ。明日から新しい春が来る様に、いやな事をみんな鬼に見立てて追い払う行事です・・・」と。豆を炒る所を見たり、ひいらぎやあせびの枝にいわしの頭を刺したり、先生達が焼いてくれる鰯を、「おいしい」「ちょっと苦いけどうまい」と食べたり。そんな内はよかったけれど、ドンドンドンドンと太鼓が鳴り響き、「大変です鬼が三森さんから降りて、もうすぐ岩村こども園にやってきます。みなさん豆を用意して下さい」と放送がながれると、さあ！不安になって部屋の隅に座り込む子、こわごわテラスに出てキョロキョロしている子、お面を被って棒立ちの子も・・・そうこうしている内に、見れば園庭に金棒を振りまいて歩いて来る赤鬼と緑鬼が！

「みんな、豆を投げて鬼をやっつけるんだ！」の先生の声に、勇気を振り絞って「鬼は～外」「鬼は～外」と豆まきが始まりました。未満児さんは、遠くで鬼を見て、声も出さず、目は見開いたまま・・・年少さんは、泣けるかと思ったけど意外と勇敢に豆を投げたのにびっくり。でも中には怖くて、マス迄投げちゃった子もいたようです。年中さんも大きな声で、机の隙間に入りながらも豆を拾っては投げ続けたね。年長さんが案外怖くて、杉本先生が「二回も連れて行かれそうになったのに、誰も助けに来てくれなんだ」と言っていましたよ。後から、「園長先生、鬼の背中をポンポンさわったでしょう？」なんて、不思議そうに聞く子もいました。「もうそろそろ隣の部屋に行ってください」の内緒の合図なんだけど、あんなに怖がっていてもこどもは良く見ているねえ。毎年、鬼のそばについている園長先生を見て「園長先生は、鬼と友達なの？」なんて聞く子もいるんですよ。バスの運転手の柴田さんが沢山のあせびを届けて下さったので、みんなが取ってきたあせびと一緒に燃やしました。パチパチと音を立てて勢いよく火を上げて燃えるあせび、「鬼～もうくるな～」と叫んでいたみんなだったね。さあ、明日は立春。鬼を追い払ったから、明るくていい事がいっぱい春が来るよ。みんなのお家にも、いわし<sup>あせび</sup>馬酔木を飾ってくださいよ。

